

令和元年度 3学期始業式の話

令和2年1月7日（火）

あけましておめでとうございます。

令和2年がスタートしました。今年は、東京オリンピック・パラリンピックの年です。オリンピック・イヤーとして、スポーツの喜びによって、多くの人々が感動を得るとともに、人種や宗教、文化、障害のあるなしにかかわらず多様性の尊重が大きな大会テーマとなり、日本全体が大いに盛り上がる年になると期待しています。

さて、「笑う門には福来る」という言葉があります。笑い声が絶えない家庭には、幸運が訪れるという意味です。最近では、笑顔で免疫力が向上するなど、笑顔の効果が様々なところで言われるようになってきました。

私が、部活動の試合を応援に回っていると、ピンチのチームに「笑顔で！」「スマイル！」という声をよく聞きます。試合で最高の力を発揮するためには、柔らかで柔軟な筋肉や肩の力を抜くことが大切で、それを実現するために、笑顔を活用している訳です。昨年、大活躍した岡山県出身の渋野さんというゴルフ選手に、外国人記者が付けたニックネームは、スマイリングシンデレラです。彼女も笑顔のパワーを活用しているのかもしれませんが。

3年生は受験ですね。もう少しでできそうな難しい問題を解くとき、難しい表情になると思います。ある先生は、そういう時は心の中で笑ってみようと勧めています。心の笑顔が、記憶を復活させたり、解き方を思いついたりさせるようです。1・2年生も含めて、笑顔で頷きながら授業を受ければ、その教科が好きになって、成績も向上するはずです。

「笑う西中には、福来る。」笑顔あふれる西中に、あふれるほどの幸運が訪れる年にしましょう。